

「道後温泉 歴史漂う景観まちづくり」



道後温泉誇れるまちづくり推進協議会

道後地区の概要

■ 道後地区の位置

- ・ 市街地中心部に近接した位置(北東)にある。

■ アクセス

- ・ 中心地からは路面電車・路線バスで15分前後
- ・ 復元した「坊っちゃん列車」も運行



■ 観光関係推定データ(平成18年)

- ・ 市の入込観光客数 4,938千人(前年比2.3%増)

※しまなみ海道開通時は6,098千人

(H11年比19.0%減)

- ・ 道後温泉入浴客数 1,131千人(前年比4.2%減)

※1日当り約3,000人強の入浴客

※しまなみ海道開通時は1,454千人

(H11年比22.2%減)

- ・ 道後温泉宿泊客数 820千人(前年比0.1%減)

※市内主要ホテル・旅館は増加傾向

※しまなみ海道開通時は1,298千人

(H11年比36.8%減)

■ 昔の道後温泉周辺の町並み



江戸時代後期の道後温泉



明治43年の道後温泉

道後の町並み(明治)





道後の町並み(大正)



道後の町並み(昭和)

■ 今の道後温泉周辺の町並み



道後温泉駅前



放生園 足湯



放生園 からくり時計

道後の町屋



路地裏



商店街





伊佐爾波神社



伊佐爾波神社付近



伊佐爾波神社付近



■現在の道後温泉本館



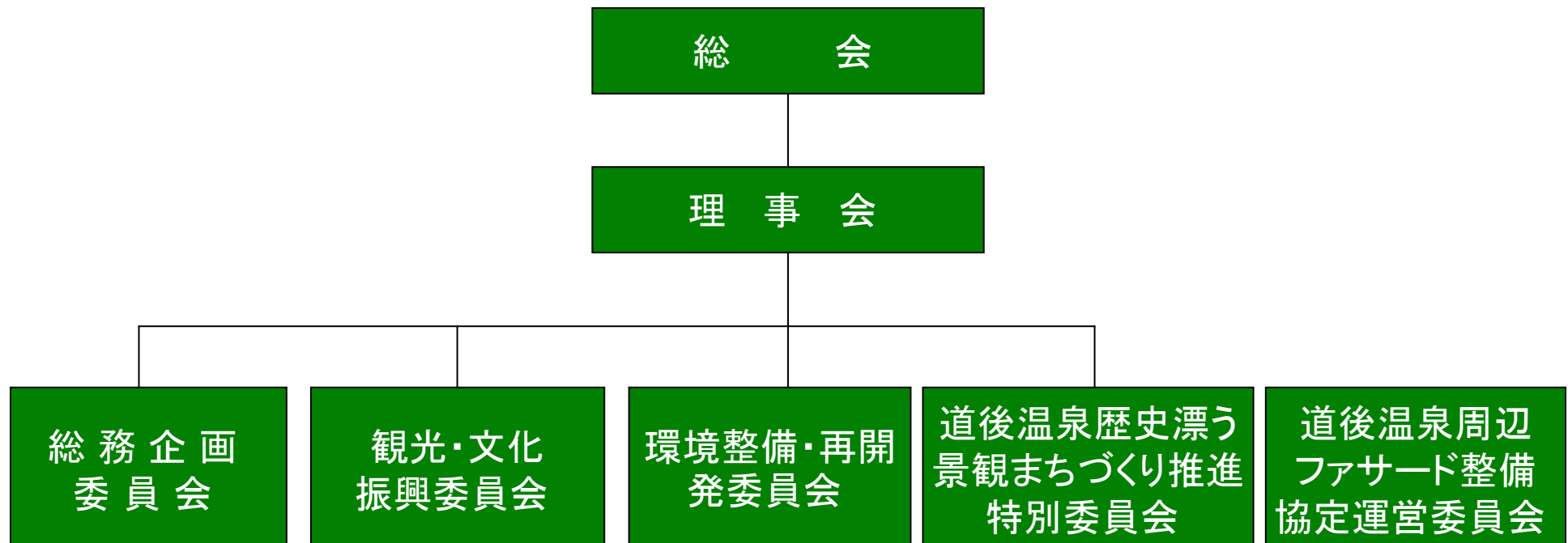
平成19年に発売された「**ミシュランガイドブック**」で、最高評価の三ツ星を獲得

【国内で3ツ星を獲得したのは、姫路城(兵庫県姫路市)や東大寺(奈良市)など51施設。
道後温泉本館は、**四国で唯一の三ツ星施設**】

道後温泉歴史漂う景観まちづくりに 関わる組織・活動

■ 道後温泉誇れるまちづくり推進協議会

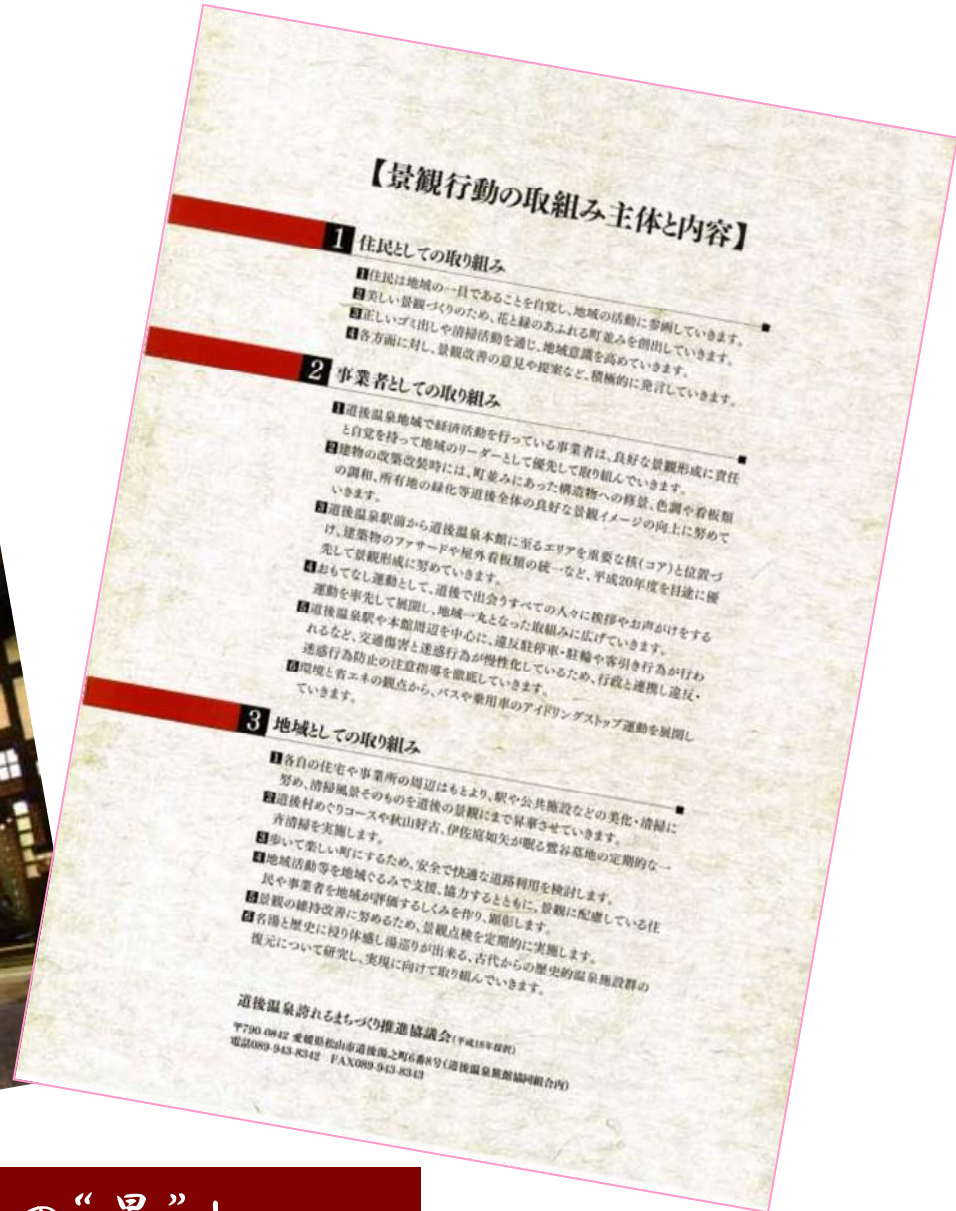
【組織図】



■ 道後温泉誇れるまちづくり推進協議会の取組み実績

- 04. 08 道後温泉誇れるまちづくり推進協議会発足
- 13. 11 まちづくりの実態調査
「ナイトウォーク、他テーマ別の踏査」実施
- 14. 06 道後ランドデザイン21発表
「DO！GO！21～クラシック&モダン・道後をめざして～」
- 16. 04 「道後のみち再生プロジェクト」企画書(市へ提出)
- 17. 10 道後温泉カジュアルフォトコンテスト
- 17. 11 道後村めぐりワークショップ実施
- 17. 12 景観まちづくり宣言づくり学習会開催
- 18. 01 道後温泉景観まちづくりフォーラム開催
- 18. 06 道後温泉歴史漂う景観まちづくり宣言『道後百年の景』
道後地区ファサード整備研修会開催
景観配慮活動に対する顕彰(屋外広告物自主撤去3件)
- 18. 09 本館周辺・道後温泉駅ファサード整備関係者交渉開始
- 19. 06 道後温泉周辺ファサード整備フォーラム開催

■ 道後温泉誇れるまちづくり推進協議会の活動



「道後百年の“景”」
道後温泉歴史漂う景観まちづくり宣言

道後温泉

歴史漂う景観まちづくり宣言

序文

道後温泉は、3千年の歴史を誇る日本最古の温泉地として全国に知られています。明治27年、道後湯之町の初代町長伊佐庭知矢をはじめ町をあげて、幾多の困難を克服し建設した道後温泉本館を中心に観光産業の基盤整備が図られ、現在の繁栄の基礎になっています。

これは、司馬遼太郎の小説「坂の上の雲」に描かれている明治の時代の松山人の志、100年先の今日を見越した先見の明、地域に対する思いや限らない愛情から成り立っているものといえます。

道後地域では、平成4年に「道後温泉誇れるまちづくり推進協議会」を立ち上げて以来、様々な魅力あるまちづくりの取り組みを展開してきましたが、道後温泉入浴者数及び宿泊客数ともに依然低迷する厳しい現状にあります。

会員、特に観光事業者は、国の重要文化財である道後温泉本館に依存し過ぎ、先人が遺した偉業・遺産を食いつぶしているだけではないかとの反省を踏まえ、歴史文化の豊かさを如何に活かし、次代に引き継いでいくべきか模索している状況にあります。

21世紀は観光の時代、一方で地域間競争の時代と言われていますが、それはかつてのようにインフラ等の生産条件で競争するのではなく、景観をはじめ、まちの魅力で競う時代であり、価値ある文化的・空間的資源なくして地域の活性化は望まれません。

今、取り組むべき課題は、住民や事業者がまちの景観の重要性を再認識して、自ら行動する自覚の醸成であり、また、美しいまちを作っていく具体的なプロセスを提示し、行動に移していくことです。

美しく文化的に豊かなまちの環境が人々の感性を磨き、それがおもてなしの心を育て、観光地としての心地よい時間と空間を絶えず創造、発信していく土壌となります。つまり、まちの生活文化の高さや魅力が、市場価値を高め、観光産業、交流文化産業の発展の母体になってきます。

その意味においても、今こそ改めて設立の原点に立ち返り、道後温泉本館建設時や昭和31年の道後の内湯創設の際に見られる見識や情熱、不屈の行動力と結束力を持って、地域住民が誇りをもてるまちづくりを進め、温泉地再生に取り組まなくてはなりません。

そこで、当協議会が主体となって道後がさらに魅力ある地域となるよう、よりよい景観まちづくりを一層推進するため、100年後も誇りうる道後温泉を象徴した「歴史漂う景観まちづくり宣言『道後百年の景』」を宣言し、実現していきます。

「道後百年の景」

道後温泉本館を中心とする道後温泉地域の歴史的・文化的空間は、松山市民の全国に誇りうるかけがえのない共通の財産です。

私たち地域の住民及び事業者は、先人の志を受け継ぎ更に発展させ、道後温泉が百年後にも誇れる地域のシンボルとなるよう、景観の修景、伝統の興行や深みの再現、そして新しい価値の創造が必要と考えます。

このため、美しく魅力的で活力のある都市型温泉郷空間の実現を目指し、歴史漂う景観づくりに取り組むことを宣言します。

- 1 私たち、道後温泉地域の住民、事業者、NPO等の関係者は、自らを景観形成の主体と認識し、市民並びに行政の理解と協力のもとに地域一丸となり、三千年にわたる日本最古の温泉地としての風格を思い起こし、百年後においても誇れる「歴史漂う道後温泉景観」の実現に努めます。
- 2 私たちは、国際観光温泉文化都市・松山における道後温泉の将来像を「クラシック&モダン・道後」とする合意のもと、伝統ある温泉地であることを再認識し、先人の知恵に学び、知恵を活かし、湯の街情緒豊かで賑わいのある文化的空間、歴史と新しさが融合した景観を持つ、美しい町並みの形成に努めます。
- 3 私たちは、まちの景観は公共のものであることを理解し、道後に居住する者並びに事業を営む者の自覚と責任において、「日常の人の営みを魅力化」することが「人の心を動かす魅力的な景観づくり」であることを常に意識し、まちづくりの原点である個人の美しい行動と美しい事業活動に努めます。
- 4 私たちは、道後温泉の景観に深い歴史性を表現するための象徴及び景観保全の核として、古代から今日にわたり各時代で受されてきた温泉施設の復元に取り組み、温泉と浪漫に浸り、道後そのものが体感でき、湯巡りも楽しめる「道後ブランド」を次代に継承発展させる景観づくりを進めます。
- 5 私たちは、景観形成は公益に深くかかわる行為であることを認識し、景観に影響を及ぼす様々な活動は、周辺との調和や地域の歴史文化等との融合を図りつつ、景観まちづくりへの理解と啓発に努め、対話による社会的な合意と適正な制限の下で行います。
- 6 私たちは、目指すべき地域景観の将来像や景観形成に関する方針などについて、景観法に基づく景観計画の策定を行い、景観計画区域の指定を道後温泉本館及び道後温泉駅周辺エリアから段階的に導入し、具体的実行を図るとともに、さらには、地域住民全員の同意が必要となる景観協定による、まちづくりを進めます。
- 7 私たちは、地域住民の道後に対する誇りと来訪者に対する「おもてなしの心」を表現するものとして、「道後温泉歴史漂う景観まちづくり宣言」を着実に実現していきます。



道後温泉歴史漂う景観まちづくり宣言 『道後 百年の“景”』

道後温泉本館を中心とする道後温泉地域の歴史的文化的空間は、松山市民の全国に誇りうるかけがえのない共通の財産です。

私たち地域の住民及び事業者は、先人の志を受け継ぎ更に発展させ、道後温泉が百年後にも誇れる地域のシンボルとなるよう、景観の修景、伝統の奥行きや深みの再現、そして新しい価値の創造が必要と考えます。

このため、美しく魅力的で活力のある都市型温泉郷空間の実現を目指し、歴史漂う景観づくりに取り組むことを宣言します。

道後温泉 歴史漂う景観まちづくり宣言

- ① 私たち、道後温泉地域の住民、事業者、NPO等の関係者は、自らを景観形成の主体と認識し、市民並びに行政の理解と協力のもとに地域一丸となり、三千年にわたる日本最古の温泉地としての風格を思い起こし、百年後においても誇れる「歴史漂う道後温泉景観」の実現に努めます。
- ② 私たちは、国際観光温泉文化都市・松山における道後温泉の将来像を「クラシック&モダン・道後」とする合意のもと、伝統ある温泉地であることを再認識し、先人の知恵に学び、知恵を活かし、湯の街情緒豊かで賑わいのある文化的空間、歴史と新しさが融合した景観を持つ、美しい町並みの形成に努めます。

③ 私たちは、まちの景観は公共のものであることを理解し、道後に居住する者並びに事業を営む者の自覚と責任において、「日常の人の営みを魅力化」することが「人の心を動かす魅力的な景観づくり」であることを常に意識し、まちづくりの原点である個人の美しい行動と美しい事業活動に努めます。

④ 私たちは、道後温泉の景観に深い歴史性を表現するための象徴及び景観保全の核として、古代から今日にわたり各時代で愛されてきた温泉施設の復元に取り組み、温泉と浪漫に浸り、道後そのものが体感でき、湯巡りも楽しめる「道後ブランド」を次代に継承発展させる景観づくりを進めます。

- ⑤ 私たちは、景観形成は公益に深くかかわる行為であることを認識し、景観に影響を及ぼす様々な活動は、周辺との調和や地域の歴史文化等との融合を図りつつ、景観まちづくりへの理解と啓発に努め、対話による社会的な合意と適正な制限の下で行います。
- ⑥ 私たちは、目指すべき地域景観の将来像や景観形成に関する方針などについて、景観法に基づく景観計画の策定を行い、景観計画区域の指定を道後温泉本館及び道後温泉駅周辺エリアから段階的に導入し、具体的実行を図るとともに、さらには、地域住民全員の同意が必要となる景観協定による、まちづくりを進めます。
- ⑦ 私たちは、地域住民の道後に対する誇りと来訪者に対する「おもてなしの心」を表現するものとして、「道後温泉歴史漂う景観まちづくり宣言」を着実に実現していきます。

道後温泉 景観まちづくり通信

vol.2 特集 「道後温泉 歴史漂う景観まちづくり宣言」 「道後百年の“景”」

発行 道後温泉景観まちづくり推進協議会 電話 089-943-8342

実現しよう「道後温泉 歴史漂う景観まちづくり宣言」

『百年の景』全会一致で採択！
先人たちの『板の上の雲』に伝えたい！ 僕・事業者・地域と共に！

地域の方々と共に 実らせよう！

全国から選ばれた先進的な取組みとなった「道後温泉 歴史漂う景観まちづくり宣言(マニフェスト)」モデル調査が終了し、「まちづくり宣言」が完成しました。
調査は、昨年9月から開始。第1段階となる「道後カジュアルフォトコンテスト」を皮切りに、第2段階「道後村めぐりワークショップ」、第3段階「景観まちづくりフォーラム」と展開され、さまざまな成果の基盤である地域住民との新しい関係づくりとなる「道後温泉 歴史漂う景観まちづくり宣言」が完成しました。

(マニフェスト)の作成にとりかき、このほど完成したものです。
この宣言内容は、昨年新たに設置された同宣言名の「検討モデル調査特別委員会」において、検討・意見交換・修正を重ね、6月21日に開催された「道後温泉景観まちづくり推進協議会総会」にて、全会一致で採択されたのです。
同宣言の構成は、3千年の歴史を誇る日本最古の温泉地を育んだ先人達への敬意を払い、低迷し続ける現在に奮闘を喚び、事業者の共通意志と関係者の共通意識を活性化させ、価値ある文化的・空間的資源を共に創造する将来に向かって「序文」と「宣言文」並びに「具体的な推進方法」

「具体的な景観整備方針」からなり、最終目標は、住民一体で作成し、維持・継続・発展させる「景観協定」づくりを視野に入れるものとなっております。
詳細は次の頁です。私たちが一人一人が、新鮮な気持ちで、この「道後温泉 歴史漂う景観まちづくり宣言」を理解して実行していきたいものです。



6/21 日開催「道後温泉景観まちづくり推進協議会」総会

特別委員会設置

地域全体の意識向上と参加が課題

「道後温泉景観まちづくり推進協議会」(会長・大木正治氏、副会長・石丸明義氏)は、「道後温泉 歴史漂う景観まちづくり宣言(マニフェスト)」モデル調査(計画書を内閣府に提出、審査を経てこの年全国586提案の中から先進的な都市再生活動に指定されました。同協議会はこのを受け「道後温泉景観まちづくり宣言」を調査しました。(表-1参照)その後具体的なプランに着手し「特別委員会」は、4段階の計画を策定し、最終的に「景観まちづくり宣言」を打ち出すことを全会一致で決定しました。

全国的にも先進性が高い

めいて

宣言モデル調査特別委員会 委員名(表-1)			
No	役職	氏名	所属
1	委員長	宮崎光彦	宝荘ホテル
2	副委員長	山澤 満	山澤商店
3	同上	二宮雄三	道後郵便局
4	同上	奥村保樹	大和屋本店
5	委員	安部幸子	道後亭
6	同上	石田凱祐	かすりや
7	同上	五十崎洋一	愛城銀行
8	同上	薄墨昌徳	常信寺
9	同上	遠藤 茂	古泉
10	同上	大木勝也	ホテル葛城花ゆづき
11	同上	大澤征司	おおさわ
12	同上	亀井好一	亀井製菓
13	同上	久保田文貞	道後地区広域委員
14	同上	黒田明良	いよぎん地域経済研究センター
15	同上	河内廣志	道後プリンスホテル
16	同上	小林寛之	嵐建築設計事務所
17	同上	白方基雄	白方興業
18	同上	玉井道雄	愛城学園
19	同上	玉置 泰	一六本舗
20	同上	新山輝洋	古湧園
21	同上	福岡晋也	NPO ア・パ・ア・オ・イ・ウ・エ・オ
22	同上	梶子大輔	伊子園屋
23	同上	光田剛也	愛和道後光田石油
24	同上	水口義徳	水口酒造
25	同上	宮本章教	道後公民館
26	同上	渡部志郎	ジェイバー松山支店

道後温泉 景観まちづくり通信 Vol. 1

発行 道後温泉景観まちづくり推進協議会 電話 089-943-8342

景観まちづくりの取組急務

目前！ 本館大改修
現在、道後温泉本館前の周辺に付替え事業や本館周辺の整備事業など長年の懸案が解決され、新たな道後の景観ができていくとしてい

時期が目前に迫っています。このような背景の下に行われる本モデル調査は、協議会が平成4年以來取り組んできたさまざまな活動の集大成として位置づけられるもの

宣言は住民の「行動指針」

この景観まちづくり宣言の作成は、近年増え続けるマンション建設による温泉地域景観の低下や屋外広告看板のあり方などを踏まえて、日常の暮らしの中で、美しい街並み形成するための住民一人一人の「行動指針」にほかなりません。



「道後温泉歴史漂う景観まちづくり宣言」検討モデル調査特別委員会

成し、維持・継続・発展させる「道後温泉景観まちづくり宣言」を視野に入れなければならない。住民ひとりひとりが「道後温泉景観まちづくり宣言」の重要性を理解し、地域一人ひとりが取り組んでいってほしい。

■「道後カジュアルフォトコンテスト」



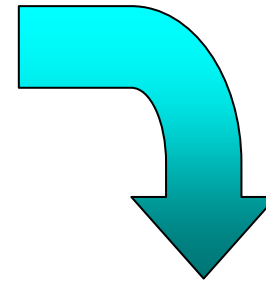
■「道後村めぐりワークショップ」の開催



■「景観まちづくりフォーラム」の開催



■屋外広告物の自主撤去 【奥道後アーチ広告撤去】



■ 屋外広告物の自主撤去 【屋上広告撤去】



■ 屋外広告物の自主撤去 【屋上広告撤去】



■ファサード整備の推進



III. 整備の方針

◆私たちが考えるそれぞれの風景

A
本館周辺
地区

誇り・品格

道後温泉本館の魅力を活かし歴史漂う温泉情緒を醸成するとともに、悠久の歴史と先取の気概が調和した、誇りと品格のある「まちづくり」に努めます。

B
駅前街区
地区

旅愁・浪漫

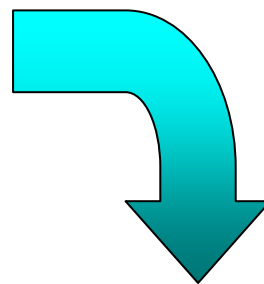
様々な人々が行き交う賑わいの中で、新しさを取り込みながらも温泉地「道後」の玄関口として、「おもてなしの心」を大切に「まちづくり」に努めます。

C
栄町筋
地区

郷愁・往来

伊佐爾波神社への参道として、道後温泉本館への散策路として、ふらり歩く楽しさのなかに、人々の営みとどこか懐かしい雰囲気を感ぜられる心地よい「まちづくり」に努めます。

【ファサード整備事例】



■ まちづくり支援金

道後温泉周辺ファサード整備推進連絡会の皆様へ

道後温泉誇れるまちづくり推進委員会から
まちづくり支援金のお知らせです。



ファサード整備の自己資金を支援します。

道後温泉周辺をより良い街並みにするために、
道後温泉ファサード整備事業にご協力ください。

道後温泉誇れるまちづくり推進協議会では、

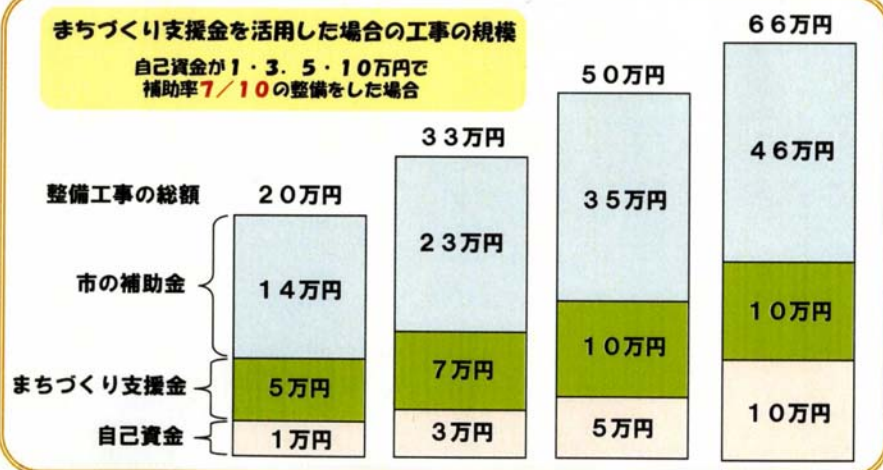
- ①道後温泉ファサード整備事業に協力し、
- ②松山市からの補助金を受ける整備工事をされる方に、

下記の支援をすることとなりました。

- 支援1. 施工業者との交渉・打合せを支援！
- 支援2. 市に提出する書類の作成を代行！
- 支援3. 自己資金への上乗せとして最高10万円を支援！

まちづくり支援金を活用した場合の工事の規模

自己資金が1・3・5・10万円で
補助率7/10の整備をした場合



※松山市からの補助金を受ける整備工事は、平成21年2月までに完了する必要があります。工事の例は個別にご案内します。

補助対象と補助率

A部分：整備地区内の道路に面する建物の立面及びそれに連なり通常見通せる立面部分

	補助対象経費	補助金額 (補助率)
①	外壁・開口部等 (1階及び2階部分) の整備費 (A部分の1階及び2階部分の色彩、材等の変更等に要する経費)	補助対象経費の10分の7以内の額
②	屋外広告物の整備費 (A部分及び屋上に設置されているものの整備に要する経費)	
③	既設設備及び屋外広告物の撤去費 (A部分の1階及び2階部分に既設されている設備等並びにA部分及び屋上に設置されている屋外広告物の撤去費)	
④	外壁・開口部等 (3階以上部分) の整備費 (A部分の3階以上部分の色彩、材等の変更等に要する経費)	補助対象経費の10分の5以内の額
⑤	門、塀、植栽等の整備費 (A部分の1階及び2階部分に附属する門、塀、植栽等で整備地区内の道路から見える構造物等の整備に要する経費)	
⑥	設備機器等の隠蔽費 (A部分に既設されており、整備地区内の道路から見える設備機器等の隠蔽費)	
⑦	既設設備及び門、塀、植栽等の移設・撤去費 (A部分の3階以上部分に既設されている設備等並びにA部分の1階及び2階部分に附属し、整備地区内の道路から見える門、塀、植栽等の移設・撤去費)	
⑧	実施設計費	
⑨	施工監理費	

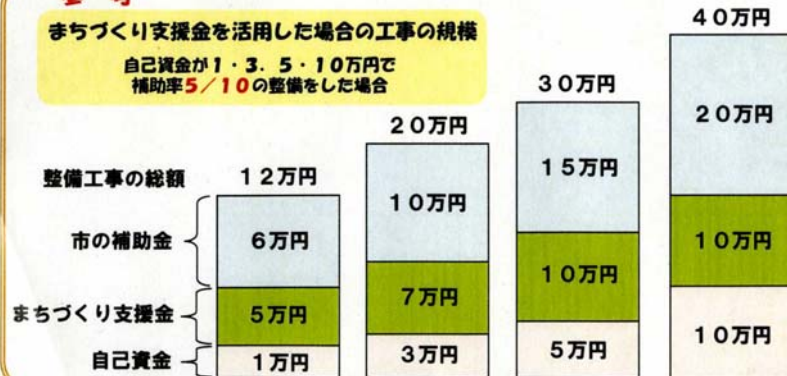
まちづくり支援金のお申し込みは、平成20年1月末日まで受付けています！

ご連絡先：道後温泉旅館協同組合内
道後温泉誇れるまちづくり推進協議会事務局
Tel：943-8342 Fax：943-8343

参考

まちづくり支援金を活用した場合の工事の規模

自己資金が1・3・5・10万円で
補助率5/10の整備をした場合



■ 旅館組合とのイベント協同開催



道後温泉の歴史と復元したいテーマ

■ 神代・古代

- 白鷺による岩間から噴出する温泉発見の伝説

【岩間からの温泉自噴の様子を足湯として再現】

- 大国主命と少彦名命の伝説



■ 飛鳥～奈良期

- 聖徳太子来湯(西暦596年)

【太子の湯】

聖徳太子来の温泉碑文に基づき、露天風呂を想像復元。



- 万葉集と熟田津の由来
額田王が「熟田津に船乗りせむと月待てば潮も
かなひぬ今はこぎ出でな」の歌
【額田王の湯】
額田王の像もあわせ足湯整備。



■ 平安期

【伊予の湯桁】

源氏物語の「空蟬の巻」に記載され、物の数の多い例えとされた「伊予の湯桁」を想像復元。

※空蟬の巻から…『指を屈めて、十・二十・三十・四十など数ふるさま、伊予の湯桁もたどたどしかるまじう見ゆ』



京都府では、今年(2008年)、
『源氏物語』の一千年を記念する
事業を展開している。

■ 鎌倉期

- 一遍上人と宝蔵寺

【上人の湯】

一遍上人生誕の地、宝蔵寺の門前に当時の湯を復元。



宝蔵寺



一遍上人と湯釜

■ 室町・戦国期

- 河野家の残した中世の城郭・湯築城
【湯泉館(ゆのたち)】
中世河野氏経営の温泉施設を復元



■ 江戸期

- 松山藩と明王院における温泉経営
(松平定行は松山藩繁栄の基礎は道後温泉にありと着目、温泉場の建物を増やすなど、発展に尽力した)

【松山藩の湯】

藩の繁栄の基礎は道後温泉にありと着目し温泉施設を充実した松平定行公縁の温泉施設を復元。

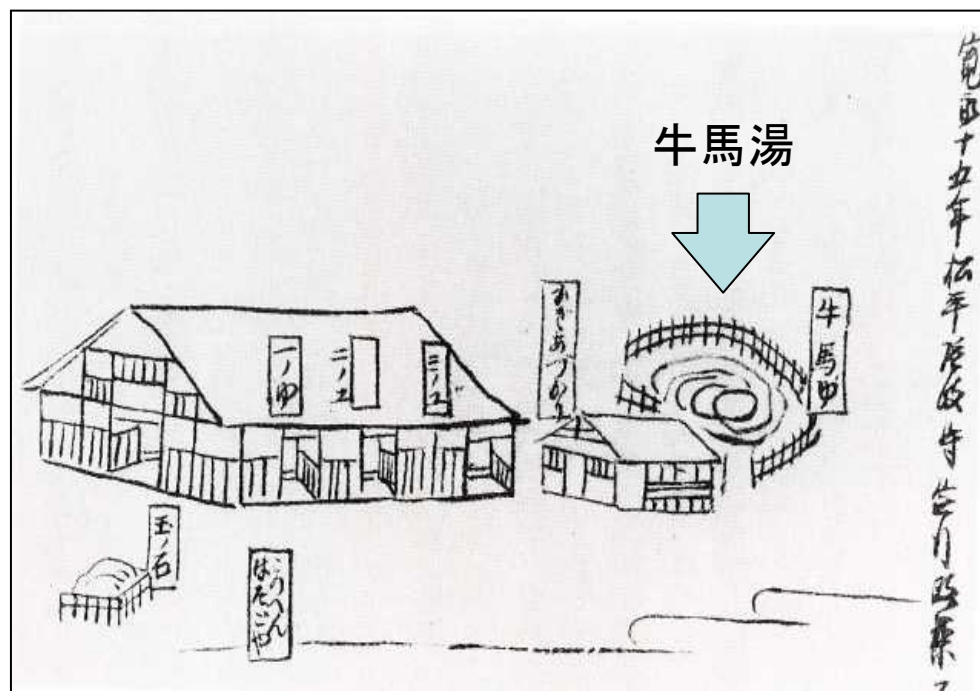


■ 明治以降

- 現在の温泉本館の建設
（伊佐庭如矢の尽力）
- 夏目漱石、正岡子規

【ペット湯】

昭和中期まで地元で愛用されていた農耕馬専用の温泉施設「牛馬湯」を現代用にアレンジしてペット専用湯として整備。



寛永15年の道後

【様々な湯】

松湯、薬湯、新湯、西湯、砂湯などの、温泉施設の復元。

課題と目標

■ 課題

- “良いまち”になるほどマンションが出来易くなる

【問題事例】



- 看板(屋外広告物)等の問題
【問題事例①】



【問題事例②】



■ その他の課題

- 町並みにおける混在
- 駐車場、駐輪場、ごみ問題
- 協議会の活動資金
- 道後温泉本館改修工事に向けた対策
- 歴史的温泉施設群の建設のための湯量及び費用



■ その他の課題

- ・観光事業者の理解と地域住民との新しい関係づくり
(合意形成)
- ①建築物に規制が加わる景観計画区域指定は土地利用が制限され地価下落のリスクを覚悟
- ②関係者には賃貸事業者や県外地権者等もいることから、調整が難航
- ③旅館、商店街関係者以外の地域住民の理解
(法的規制や資金)

■ 今後の目標【道後百年の“景”の具体化】

- 「日常の人の営みを魅力化することが、人の心を動かす魅力的な景観づくりである」ことを認識し、おもてなしの“気持ち”を“かたち”に表現する。
- 道後温泉地区における良好な景観の形成とその保全を図るため、行政との協働により法的制度の導入を図る。
- 道後温泉本館周辺及び駅前地区の建物の外観や屋外広告物を「本館」と調和したデザインにする「ファサード整備」を地域ぐるみで推進する。
- 道後は温泉地であることの原点に立ち返り、事業者が主体となってお客様満足度を高め、滞在時間の延長と交流人口の増大を図る。

■ 今後の目標【道後百年の“景”の具体化】

- 道後温泉の景観に、歴史文化の豊かさを活かし、次代に引継いでいくための象徴及び核としての温泉施設群の検証・復元を推進するとともに、100年後にも耐えうる“温泉地力”をつけるよう、まさに「坂の上の雲」の志を持ち続ける。



おわり